



2021年3月22日

各 位

会 社 名 三井倉庫ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 古賀 博文
(コード：9302、東証第1部)
問合せ先 執行役員経理部長 松井 博文
(TEL. 03-6400-8006)

特別利益および特別損失の計上ならびに 2021年3月期通期業績予想値の修正に関するお知らせ

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、2021年3月期連結および個別決算において投資有価証券売却益を計上する見込みです。また、2021年3月期連結決算においてのれんに係る減損損失ならびに子会社の個別決算において関係会社株式評価損を計上する見込みです。これらを踏まえて2021年2月2日に公表した通期連結業績予想値および2020年5月11日に公表した通期個別業績予想値を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上

(1) 投資有価証券売却の理由

コーポレートガバナンス強化のため。

(売却の背景)

企業による政策保有株式の保有については、コーポレートガバナンス・コードにおいて保有方針の開示が求められる等、保有に関する規律の強化が促されております。

当社は「中期経営計画2017」に基づく重点施策の一つとして「ESG経営」の推進を掲げており、政策保有株式の保有に関するガバナンス強化を図るため縮減の取り組みを加速することとし、保有する投資有価証券の一部を売却いたしました。

(2) 投資有価証券売却の内容

売却株式：上場有価証券22銘柄（含む見なし保有株式3銘柄）および非上場有価証券1銘柄
投資有価証券売却益：約52億円

なお、株式の売却により得た資金は現在の財務政策の基本方針に沿い、有利子負債の返済に充当し、財務バランスの更なる改善を図ることといたします。

2. 特別損失の計上

(1) 連結決算におけるのれんの減損損失

MS Supply Chain Solutions (Malaysia) Sdn. Bhd. は、当社グループのサプライチェーンマネジメント支援業務のマレーシアにおける現地法人として、調達物流、工場内荷役や工場間輸送などの工場物流、マレーシア発または三国間の国際輸送業務等を行い、業績は概ね事業計画に沿って推移しておりました。しかしながら、マレーシア現地における主要顧客の生産体制見直しによる取扱量の減少見通し等を受け、今後の事業計画を慎重に見直し、回収可能価額について検討した結果、のれんの減損損失約26億円を計上する見込みです。

(2) 子会社の個別決算における関係会社株式評価損

MS Supply Chain Solutions (Malaysia) Sdn. Bhd. の株式を保有する三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社の個別決算において、上記の事業計画見直しに伴い、同社が保有するMS Supply Chain Solutions (Malaysia) Sdn. Bhd. の株式について実質価額を算定した結果、関係会社株式評価損約48億円を計上する見込みです。なお、当該関係会社株式評価損は当社の連結決算には影響ございません。

3. 2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 244,000	百万円 16,000	百万円 15,500	百万円 9,000	円 銭 362.37
②今回修正予想	248,000	17,000	16,500	9,800	394.58
③増減額 ②－①	4,000	1,000	1,000	800	—
④増減率 ③／①	1.6%	6.3%	6.5%	8.9%	—
参考：前年同期実績 (2020年3月期)	241,080	11,808	10,531	6,395	257.50

修正の理由

投資有価証券売却益約52億円、のれんの減損損失約26億円の計上に加え、自動車関連貨物の航空輸送が想定を上回り推移していることなどから、上記の通り通期連結業績予想値を修正いたしました。

4. 2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の個別業績予想値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 18,600	百万円 4,500	百万円 3,800	百万円 3,400	円 銭 136.90
②今回修正予想	18,600	5,000	4,700	7,300	293.92
③増減額 ②－①	－	500	900	3,900	－
④増減率 ③／①	－	11.1%	23.7%	114.7%	－
参考：前年同期実績 (2020年3月期)	17,903	4,446	3,949	945	38.08

修正の理由

各種経費が想定を下回ったこと、有利子負債の削減が想定以上に進捗したことから支払利息が予想を下回ったこと、投資有価証券売却益約52億円の計上により、上記の通り通期個別業績予想値を修正いたしました。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上